

家庭クラブ通信

2月号



発行/愛媛県立川之江高等学校家庭クラブ

① 愛媛県高等学校家庭科ホームプロジェクトコンクール応募作品の紹介 「災害時に備える～家族みんなで～」 102 大野 由奈さん

*「ホームプロジェクト」とは？

家庭科で学習した知識や技術を生かして、主体的に研究・実践活動を行うことで、家庭生活の充実向上を目指す、課題解決型学習です。1年生全員が「家庭基礎」の夏休み課題として取り組みました。



*「災害時に備える～家族みんなで～」の内容紹介（一部）

〈題目選定の理由〉いつか来ると言われている南海トラフが来たときのことを考えたら、我が家はあまり備えることができていないので、防災への意識を高めたいと思った。

〈実施計画・内容〉

1. 実態調査と問題点の把握

(1) 家族で話し合い (2) 家の危険箇所チェック (3) ストック食品の確認

2. 研究と実践

- (1) 避難経路・場所の確認…四国中央市防災マップを活用
- (2) 連絡方法の確認…災害用伝言ダイヤルの体験利用
- (3) 食器棚につっぱりポールを設置
- (4) 避難経路の確保…玄関をスッキリさせ、避難しやすくした。
- (5) 家に備える防災グッズの準備
- (6) 持ち歩き防災グッズの準備
- (7) 非常食の試食…家族で試食し、味の評価をした。
- (8) 紙でコップを作る…新聞紙、ビニール袋を使用

3. まとめと今後の課題

- (1) 成果…緊急時に備えることができた。防災意識が高まった。
- (2) 家族からの意見・感想
- (3) 今後の課題

〈評価〉 題材：今後役に立つ題材で良かった。

計画：効率が悪かった。

内容：家族の意見を取り入れながらできた。

結果：自分にもその他の人にも役に立った。

☆越智先生からの講評☆

毎年、防災をテーマにしたホームプロジェクトを実践する人はいますが、非常食や防災グッズを集めるだけになりがちです。そこから発展し、非常食を試食してみたり、家の中や外の避難経路の確認や改善などにも取り組んでいます。また、題目にもあるように家族みんなで取り組むことで、家族みんなの防災意識を高めることにつながりました。家族の評価の低かった非常食のアレンジなどをやってみると更に独自性のある研究になると思います。

何事においても、**課題・目的を見つけ (See) → 計画 (Plan) → 実践 (Do) → 評価 (See)** のサイクルを繰り返すことで、成果は上がるはずですよ。皆さんもこのホームプロジェクトの進め方を様々な分野で活用してみましょ。

【豆知識】

*「南海トラフ地震」が発生したら四国中央市はどうか？

○地震規模：**M 9.0** ○最大震度：**震度7** (愛媛県地震被害想定調査結果より)

○三島川之江港における最高津波水位：**3.5m**

○建物被害…全壊棟数：**26,288棟**、半壊棟数：**11,014棟**

○人的被害…死者数：**1,043人**、負傷者数：**4,833人**

○ライフライン被害…断水人口：**被害率99.9%**、下水道支障人口：**96.8%**

停電件数：**100%**、固定電話不通回線数：**99.9%**

○生活支障…避難者(1日後)：**31,999人**、(1週間後)：**43,554人**、(1ヶ月後)：**60,249人**

*川之江高校は指定避難所、グラウンドは指定緊急避難場所になっています。四国中央市のハザードマップを被服教室そばの廊下に貼っています。自宅近くの避難場所を知らない人は確認しましょう。

② 天ぷら油回収活動に協力

2年「フードデザイン」でコロッケを作り、使い終わった油を集め、回収活動に協力しました。回収された廃油は、バイオディーゼル燃料の原料となります。バイオディーゼル燃料は、ディーゼルエンジンを搭載したトラックなどの車両などで利用できます。廃油を普通に捨てれば、ゴミとなってしまいますが、回収活動を行うことで、CO₂削減・石油資源保護に繋がります。事務室前で集めていますので、皆さんも協力してみませんか。



〈廃油を漉して容器に詰めます〉



〈たくさん回収できました〉



〈204 実習の様子〉



〈203 5班のランチ〉

〈飯 コロッケ 付け合わせ〉